



事務局住所移転等に伴う定款改正 についてのお知らせ

当会事務局は港区にあります。中野区に移転予定です。これに伴い、定款の改正が必要になりました。合わせて、理事の定員、総会での表決方法についても変更の承認を得るべく臨時総会を予定しておりますので、会員には直接案内が発送されますのでご協力をお願いします。

NPO 法人日本防火技術者協会 平成 22 年度通常総会報告

日時：平成 22 年 1 月 25 日 (月)
13:30～14:30

場所：スクワール麹町

議題内容

- 1) 平成 21 年度事業報告
- 2) 平成 22 年度活動計画
- 3) 会計報告、予算計画
- 4) 監査報告
- 5) その他

【総会参加者】

会員数：135 名 (賛助会員を除く)
総会成立条件 委任状を含めて会員の過半数の出席 (定足数 68 名)
出席者 出席 21 名、委任状 55 名
合計 76 名

【配付資料】

- (1) 平成 21 年度 事業報告書
- (2) 平成 22 年度事業計画書
- (3) NPO 法人日本防火技術者協会活動予定
- (4) NPO 法人日本防火技術者協会平成 21 年度決算書
- (5) 平成 21 年度 会計貸借対照表
- (6) 平成 21 年度 会計収支計算書
- (7) 平成 21 年度 会計財産目録
- (8) 平成 22 年度 会計収支予算書

【審議事項】

- (1) 第一号議案 議長の選任
- (2) 第二号議案 議事録署名人の選任
- (3) 第三号議案 平成 21 年度事業報告
- (4) 第四号議案 平成 22 年度活動計画
- (5) 第五号議案 平成 21 年度会計報告
- (6) 第六号議案 平成 22 年度予算
- (7) 第七号議案 監査報告

議事の経過の概要及び議決の結果

総会の開始に当たり、福井総務理事から総会の定足数について報告があり、総会の定足数を満たしており、総会が成立したことが宣言された。

引き続き、笠原勲理事長の挨拶があった。

(1) 第一号議案 議長の選任

司会より笠原勲氏を議長に指名し、全員異議なくこれを承認した。

(2) 第二号議案 議事録署名人の選任

議長より本日の議事をまとめるにあたり、議事録署名人 2 名を選任することを諮り、山田 茂氏、栗岡 均氏を選任することを、全員異議なく了承した。

(3) 第三号議案 平成 21 年度事業報告

福井総務理事より平成 21 年度活動結果報告があり、審議したところ、全員異議なくこれを承認した。

主な活動内容は、以下の通りである。

1) 調査研究事業 (シンポジウム開催)

2 月 5 日シンポジウム「第 7 回性能設計シンポジウム報告」を東京理科大学森戸記念館で開催し、30 名の参加を得た。

3 月 12 日建築会館にて「防火技術者の職能について」シンポジウムを開催し、40 名の参加を得た。

2) 調査研究事業 (防火研修会開催)

7 月 15 日防火研修会「今、セキュリティに求められているもの」を東京理科大学森戸記念館で開催し、20 名の参加を得た。9 月 8 日防火研修会「高齢者施設の火災安全確保について考える」を東京理科大学森戸記念館で開催し、100 名の参加を得た。10 月 7 日防火研修会「損害保険と工場の自主防災」を東京理科大学森戸記念館で開催し、30 名の参加を得た。

3) 調査研究事業 (講演・懇話会開催)

12 月 1 日「防火技術者の職能を考える - 先輩の職能団体に学ぶ」日本コンストラクションマネジメント協会の活動より、京都大学古阪先生の講演会を開催した。参加者 15 名。

5) 防火技術者の連携事業

ホームページのメンテナンスを行った。JAFPE ニュース(19～21 号)を Email で配信した。

6) 防火技術者の国際的連携事業

8 月 25 日台湾高雄市消防局メンバーと交流会を清水建設技術研究所の協力を得て開催した。

平成 22 年 6 月スウェーデン、ルンド大学で開催予定の性能設計に関する国際シンポジウムのケーススタディ公募に応募する計画の検討を行った。

(4) 第四号議案 平成 22 年度活動計画について

福井総務理事より平成 22 年度活動計画についての説明があり、審議したところ、全員異議なくこれを承認した。

(5) 第五号議案 平成 21 年度会計報告

池田会計理事より平成 21 年度会計報告があり、審議したところ、全員異議なくこれを承認した。

(6) 第六号議案 平成 22 年度予算について

池田会計理事より平成 22 年度予算についての説明があり、審議したところ、全員異議なくこれを承認した。

(7) 第七号議案 監査報告

濱田監事より、平成 21 年 1 月 1 日から平成 21 年 12 月 31 日までの事業年度における理事の業務状況および財産の状況についての監査報告がされた。

【平成 22 年度活動計画】

1) 防火啓発事業

老人福祉施設、学校教育施設の避難安全に関する研究会を継続し、これらの施設の避難安全、改善に向けた助言、施設従事者に対する教育プログラムの作成を行い成果をシンポジウムなどで発表する。

2) 火災安全の広報事業

一般ビルや公共空間や地下の火災時の状況、避難安全の確保などについて防火技術者の立場から雑誌、ホームページなどで啓発する。

3) 調査研究事業

防災上特徴ある竣工建築物を性能設計の視点から調査するとともに、一般市民の啓発を図る。



4) 調査研究事業

建築物の火災安全性能や防火技術について、防火研修会により火災安全防火技術者の技術や倫理向上に資する。建築学会、火災学会などと共催を行う。

5) 防火技術者の連携事業

防火技術者の技術向上、倫理維持をめざしホームページ、E-mail 配信などにより情報提供と相互連携、技術講習会を行う。

6) 防火技術者の国際的連携事業

国際的なシンポジウムに参加する。国際的な問題をテーマとするシンポジウムに講師を招聘・派遣する。

防火技術研究、国際的な技術交流などについて情報発信を行う。またニュースという形で定期的なものとして市民に広く、防火技術、防火管理などに関する情報を提供する。国際的、学術的な情報発信も合わせて行う。

3) 調査研究事業(見学会)

竣工建物の見学会などを企画する。広くインターネット・ホームページなどで参加を呼びかける。特に防災的な観点で説明者や案内者をお願いする。会員からの希望もあり、対象は東京に限らず選択する。会員からの情報提供にも期待する。年2回程度の開催を目指す。

4) 調査研究事業

防火設計事例見学会

年2回程度、防火設計事例の見学会と関連した講演会を開催する。設計者や一般市民にも呼びかけ、防火技術の啓発、情報発信を行う。対象は東京に限らず選択する。また、啓蒙のための防火関連映像ライブラリーの収集を行う。

5) 調査研究事業

防火研修会

防火技術や性能規定にかかわること、高齢社会対応技術、地震時対応など幅広いテーマで建築学会や火災学会などと連携して、年4回程度開催する。広く参加者を呼びかける。

6) 防火技術者の連携事業

Email やホームページ、ニュースの発行などで、防火技術者の技術向上のための情報発信および技術講習会を行う。また防火技術職能や地震時防災などに関しても建築学会や火災学会などの諸団体と連携して意見交換などを行う。研究会は定期的に開催する。

7) 防火技術者の国際的連携事業

第9回性能基準と火災安全設計法に関する国際会議におけるケーススタディに参加する。

アジア地区の防火技術者との間で相互交流を行う。

- ・研究会-の講師の招聘、派遣
- ・交流会の開催
- ・他

京都大学 田中孝義教授 記念講演会の開催結果

この度、京都大学田中孝義教授が SFPE 日本支部では最初の名誉ある Fellow になりました。記念講演会を開催しました。

日時：平成 22 年 1 月 25 日(月)

14:40~15:40

場所：スクワール麹町

講演者：田中孝義(京都大防災研究所教授)

演題：リスクベースの火災安全設計法の可能性と意義

参加者：30 名



田中先生 Fellow お祝い会

日時：平成 22 年 1 月 25 日(月)

16:00~18:00

場所：スクワール麹町

5 階 豊の間

30 名の参加者にて開催されました。

ブライアンミッチャム氏

Brian Meacham, Ph.D., P.E., FSFPE,

Worcester Polytechnic Institute

(WPI 準教授)

講演会概要報告

Building Regulations and Fire Protection Engineering in the USA: Situation with ICC, NFPA and PB Design



このたび ICC の防火関連規定に詳しい



SFPE 日本支部 2010 年度通常総会報告

日時：平成 22 年 1 月 25 日(月)

14:00~14:30

場所：スクワール麹町

議題内容

- 1) 2009 年度事業報告
- 2) 2010 年度活動計画
- 3) その他

[2009 年度活動報告]

[2010 年度活動計画]

1) 防火啓発事業

地下空間探検隊(仮称)継続事業

複雑化する都心の地下鉄駅、地下街、駅なか空間について、認知マップを目指して防火避難の観点からウォークスルーを行い、啓発活動を行う。認知地図の作成にも参加してもらう。タイプの異なる地下鉄駅とそれにつながる地下街を目標に実施する。

老人福祉施設、学校教育施設の避難安全に関する研究会

昨年に続き老人福祉施設、学校教育施設の避難安全の検討、改善に向けた助言、施設関係者の教育プログラム作成、啓発パンフレットの作成、シンポジウムなどを行う。

2) 火災安全の広報事業

インターネットを利用し、防火技術職能、



WPI 準教授のブライアンミッチャム氏が来日する機会に ICC Building Code について講演を行っていただきました。

従来、米国の建築基準は 3 つの基準(NBC, UBC, SBC) がありました。

それら相互の相違を解消する目的で ICC Building Code として統一される方向にあります。

米国の基準は世界各国への影響が大きく、その方向を把握しておくことは、日本の防火技術者にとっても参考になるものでした。

日時 2010年5月12日

場所 森戸記念館 1階会議室

参加者 19名

講演構成

Overview

Model Codes in US

US Building Regulatory System

Evolution of Model Codes in US

ICC Family of Codes

ICC Adoptions

NFPA Comprehensive Consensus Codes

NFPA 5000 Adoption

NFPA 101 - Life Safety Code® Adoptions

IBC and NFPA 5000

IBC - Prescriptive Code

NFPA 5000 and NFPA 101

ICC Performance Code

ICCPC - Chapter 3

Evaluating PB Designs

PB Design Experience in USA

Summary

講演内容は、米国における ICC 性能の建築基準の成立経過とその後の現状や防火技術者の役割などについてでした。

- 1) 米国で建築基準が整備されてきた歴史
- 2) ICC Building Code に統一されるに至った経緯。
- 3) .ICC Building Code の中で 性能基準および性能設計アプローチはどのように扱われているか。
- 4) ICC Building Code の性能基準はこれまでに、どのくらいの自治体で採用されているのか。
- 5) ICC Building Code の性能基準に基づく性能設計アプローチでデザインされた建物は過去にどの程度あるのか。また、性能設計はかなり普及しているのかどうか。

- 6) 避難階段の削減など、実質的な避難安全性の低下例など、性能設計によりデザインされた建築における問題点等はないか。

三菱1号館見学概要報告

三菱1号館はジョサイア・コンドルの設計で 1894 年(明治 27 年)に竣工した明治を代表する事務所建築でしたが、1968 年(昭和 43 年)に取り壊されました。

その後、丸の内地区の多くのビルの建てかえが行われる中で、復元の計画がもちあがり、2009 年に復元工事が完了しました。復元に際し、出来る限り当初の計画を忠実に再現することを基本としたため、防火の面でも多くの課題が生じたそうです。

そこで三菱地所設計様の協力を得て、以下のような見学会を開催いたしました。三菱地所設計の野村様から建物再現の経緯や建物概要をお聞きし、また防火上の課題について検討された早稲田大学の長谷見教授から防火上の課題とその解決法についてお聞きしました。



日時 2010年5月27日(木)

会場 三菱地所設計

(丸の内富士ビル会議室)

施設の概要説明(15時~15時30分)

三菱地所設計 野村 和宜様

復元に際して生じた防火設計上の課題と対策(15時30分~16時)

早稲田大学 長谷見教授

三菱1号館見学、質疑応答(16時~17時)
解散(17時20分)

丸の内歴史、三菱1号館の歴史、復元に際しての防火防災上の工夫など、貴重な講演を聞くことができました。野村様、長谷見教授をはじめ関係各位に御礼申し上げます。

当日は、美術館では「マネとモダン・パリ」展を実施しておりました。

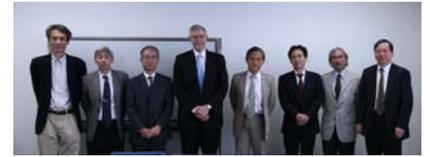
ブライアンミッチャム氏と アジアにおける SFPE 活動について 意見交換会を実施

アジアにおける SFPE 支部活動の連携について

台湾支部、香港支部、中国本土支部(北京・上海)、シンガポール支部、オーストラリアとの連携について、SFPE 本部から調整を行うことを要請した。

今年 10 月に計画されている台湾でのシンポジウム「文化財の防火」に日本支部は協力する。

その他、意見交換が行われました。



駅ナカ探検隊開催予定のお知らせ

当会では今年度の事業として、駅ナカ空間の避難安全のための実地調査をおこなうこととしています。

NPOとして、一般の人を対象に、駅ナカの避難安全を目的とした啓発活動をおこなうことも目的の一つでした。そこで、まず、防火技術者の皆様と専門の目でみて、候補駅として新橋駅、品川駅の駅ソト・駅ナカ空間の防災設備、サイン、空間認知などを 9 月下旬に実施することと計画中です。別途案内を行う予定です。

8th International Conference on Performance-Based Codes and Fire Safety Design Methods:

第 8 回性能基準と火災安全設計法に関する国際会議は 2010 年 6 月 16-18 日の日程で、スウェーデン王国ルンド大学にて開催されます。性能基準と工学的アプローチを一同に議論することができる独特の会議です。今年には日本から論文発表 4 題とナイトクラブのケーススタディの発表が行われます。詳細は SFPE 本部のホームページをご覧ください。



イベント情報

8th International Conference on Performance-Based Codes and Fire Safety Design Methods, **June 16-18, 2010**, Lund University in Sweden.

The 12th International Conference on Fire Science and Engineering (Interflam), **July 5-7, 2010** at East Midlands Conference Centre, University of Nottingham, United Kingdom.

2010 Fire Protection Engineering P.E. Exam Onlien Review Seminar, **July - October 2010**. Prepare for the 2010 Fire Protection Engineering PE Exam from wherever you can access the Internet. This effective, on-line review class will help you organize and navigate through the massive amount of reference material.

FIVE - Fires In Vehicles, **September 29 - 30, 2010** in Gothenburg, Sweden.

The Annual Meeting: Professional Development Conference and Exposition **October 3-8, 2010**, at the Astor Crowne Plaza in New Orleans, LA.

3rd SFPE SAC Fire Technology Conference & Exhibition: **October 16-20, 2010**, sponsored by the Saudi Arabian Chapter in Al Khobar, Saudi Arabia.

SFPE Advanced Fire Alarm Systems Design **December 16-17, 2010**, being held at the NFPA Professional Development Week in Orlando, FL.

Studying on-line with SFPE eLearning Courses. The Society of Fire Protection Engineers now offers distance learning programs in a web-based format.

Journal of Fire Protection Engineering Vol.20 No.1 Feb., 2010

A Risk-based Equivalence Approach to Fire Resistance Design for Buildings

(建物の耐火設計のためのリスクに基づく同等性アプローチ)

Y. He and S. Grubits

A Mathematical Model of the Drag Component of a Sprinkler Spray Adjacent to Horizontal Smoke Vents

(水平排煙口に近接するスプリンクラー噴霧のドラッグ成分の数学的モデル)

K. Y. Li, M. J. Spearpoint, J. Ji, R. Huo and L. H. Hu

A Survey of Fire Loads in Elementary Schools and High Schools

(小学校と高校の火災荷重調査)

G. Hadjisophocleous and Z. Chen

Fire Protection Engineering No.45 1st Quarter 2010

Existing Buildings: from Rehabilitation Codes to Performance-Based Design -

Overcoming limitations presented by Existing buildings
(既存建物:改修基準から性能設計へー既存建物における制約の克服)

By: William E. Koffel, P.E., FSFPE

Why a Rehabilitation Code? - Why a Rehabilitation Codes deserve informed support.

(なぜ改修基準か? 改修基準はインフォームドサポートに値するか?)

By: John R. Hall, Jr

Using a Systems Approach and New Technology to Reduce Response Time -

Active monitoring systems for portable fire Extinguishers.
(システムアプローチと新技術を用いた応答時間の削減ー可搬式消火器の能動的モニタリングシステム)

By: Wayne D. Moore, P.E., FSFPE

New Jersey's Rehabilitation Subcode - How New Jersey's subcode is organized.

(ニュージャージー州の改修補助基準ーニュージャージーの補助基準が作成された)

by John N. Terry

Fire Alarm Systems in Existing Buildings

How to repair existing systems and determine when new systems are necessary

(既存建物における火災警報設備ー既存システムの補修と新システムの必要性をどのように判断するか)

By: NEMA

新たに入会された個人会員 2 名の方々を記載しました。(敬称略)

【会員】

関口 高正〔榊サックビット〕
新谷 祐介〔榊竹中工務店〕
〔合計 2 名〕

5月末会員数	個人	125
	学生	8
	賛助	5

なお、会員の所属の移動等の情報も今後、お知らせする予定です。

理事会等の開催結果

理事会を以下の日に実施しました。
1月7日(水)、 3月17日(水)
5月25日(火)

事務所移転のお知らせ

当会の事務所を下記に移転予定です。
〒164-0001 東京都中野区 4-4-11

△